

様式第1号

会 議 録

会議の名称	平成26年度 所沢市要保護児童対策地域協議会 第1回 実務者会議
開催日時	平成26年5月14日(水) 午後1時30分～3時30分
開催場所	所沢市役所 604会議室
出席者	永井 徹郎、葦 克己 (埼玉県所沢児童相談所) 未竹 眞智子 (埼玉県所沢警察署) 大冨 恵子 (埼玉県狭山保健所) 宮口 香織 (防衛医科大学校病院) 巢瀬 賢一 (所沢歯科医師会) 田口 眞弓 (埼玉県助産師会所沢地区) 遠藤 順子 (所沢市民生委員・児童委員連合会) 原口 広美 (青少年育成所沢市民会議) 高橋 純 (所沢市社会福祉協議会) 小川 明美 (所沢市幼児教育振興協議会) 田中 ひとみ (埼玉県立所沢特別支援学校) 山口 勝彦 (所沢市教育委員会学校教育部) 田中 久雄 (所沢市立小学校長代表) 川崎 哲也 (所沢市立中学校長代表) 池田 弘 (所沢市福祉部生活福祉課) 岸 健次 (所沢市健康推進部健康づくり支援課) 青木 一圭 (所沢市こども未来部こども福祉課) 井上 典 (所沢市こども未来部青少年課) 守谷 秀明 (所沢市こども未来部保育課) 浅見 仙隆 (所沢市こども未来部こども支援課)
欠席者	小林 治 (所沢市医師会) 谷口 悟 (所沢人権擁護委員協議会所沢部会) 尾内 健一郎 (さいたま地方法務局所沢支局) 横須賀 邦子 (所沢市教育委員会学校教育部教育センター) 瀬能 幸則 (所沢市健康推進部健康管理課)
説明者の職・氏名	なし
議 題	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議題 (1) 平成25年度事業報告について (2) 平成26年度事業計画について (3) 取り扱いケースの支援状況について

<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度所沢市要保護児童対策地域協議会第 1 回実務者会議資料 ・代表者会議での修正事項 ・平成 25 年度 実務者会議進行管理部会 開催状況 ・所沢市児童虐待対応マニュアル ・要保護児童進行管理台帳 非公開
<p>担 当 部 課 名</p>	<p>こども未来部：仲部長 こども支援課：浅見課長、岸主幹、菅原所長、竹内主査、森本保健師、 佐々木主任 【事務局】：こども未来部 こども支援課 こども相談センター 電話 04-2998-9129</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
菅原所長	<p>1 開会 事務局が開会</p> <p>2 委嘱状交付 市長代理として、こども未来部 仲部長より交付</p> <p>3 あいさつ 仲部長があいさつ</p> <p>4 議題 委員によって、下記のことが審議・決定された。 会議は原則通りに公開とする。ただし、個人に関する情報を取り扱う議題は、非公開とする。 公開の場合、傍聴者に対して会議資料を配布する。（傍聴者なし）</p> <p>以下、座長（こども未来部こども支援課浅見課長）が進行。</p> <p>（1）平成 25 年度事業報告 「平成 26 年度所沢市要保護児童対策地域協議会第 1 回実務者会議資料」（2～12 ページ）に沿って、代表者会議に出された意見も含めて下記 7 項目について、事務局から報告した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．会議等の開催 2．平成 25 年度 虐待相談受付状況 3．年度別虐待相談受付状況 4．要保護児童進行管理台帳掲載状況 5．平成 25 年度 学校及び保育園等から市への定期的な情報提供の状況 6．平成 25 年度養育訪問支援事業の実施状況 7．平成 25 年度の目標に対する評価 <p>質疑応答については下記のとおり。</p>
田口委員	<p>【質問】虐待相談受付状況において、相談の経路が近隣・知人からの相談の割合が多いが、この割合の経年変化を教えてほしい。</p>
菅原所長	<p>【回答】平成 24 年度の近隣・知人からの相談は、全虐待相談 154 件中 36 件（34.4%）だった。経年変化はあまりない。</p>
田口委員	<p>【質問】所沢児童相談所への送致件数を 1 件としている部分と、5 件としている部分があるため、詳細を説明してほしい。</p>
菅原所長	<p>【回答】平成 25 年度は、新規に相談を受け付けたケースを児童相談所に送致した件数が 1 件、継続して関わっているケースを児童相談所に送致した件数が 4 件であった。そのため、新規ケースのみについて記述している部分では 1 件、平成 25 年度全体について記述している部分では 5 件と記載した。</p>

田口委員 竹内主査	<p>【質問】要支援家庭とはどのような家庭か教えてほしい。</p> <p>【回答】生活保護世帯、ひとり親世帯、保護者が精神疾患や知的障害を抱える世帯等で、上記の要因が複合的にかからんでいることも多い。</p>
田口委員 竹内主査	<p>【質問】要支援家庭以外の家庭でも虐待は起こっていると思うが、取扱いケースの中で、要支援家庭とそうでない家庭の割合を教えてほしい。</p> <p>【回答】今回新規ケースとして提出する20ケースの中では、17件が、先ほど回答したような様々な要因を抱える要支援家庭。3件が要支援家庭以外のケースとなっている。</p>
田口委員 竹内主査	<p>【質問】産後一ヶ月は母子のそばに誰かいてほしいが、母は孤立しがち。そのような母は、分からないことがあるとネットで検索をする。</p> <p>虐待相談件数の中で、実母による虐待が多い傾向が続いているが、このことをどのようにとらえているか教えてほしい。</p> <p>【回答】乳児家庭全戸訪問事業等によって、虐待リスクのあるケースが発見され、相談につながっている部分もあると考えている。相談件数が少なければ良い訳ではない。</p>
菅原所長	<p>(2) 平成26年度事業計画について</p> <p>平成26年度に実施する事業について、「平成26年度所沢市要保護児童対策地域協議会第1回実務者会議資料」(13~14ページ)に沿って、代表者会議に出された意見も含めて、下記4項目について事務局から報告した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会議等の開催 2. 学校及び保育園等から市への定期的な情報提供 3. 養育支援訪問事業 4. 平成26年度の目標
田口委員	<p>質疑応答については下記のとおり。</p> <p>【提案】国が進めている産後ケア事業を、所沢市も実施してはどうか。産後の母子が入所できるような施設への補助等によって、産後うつや、孤立防止を図る取り組みを行い、虐待の未然防止を図ってはどうか。</p>
岸委員	<p>【回答】健康づくり支援課としては、妊産婦訪問事業、こんにちは赤ちゃん訪問事業などを実施している他、母子愛育会や民生委員等に依頼し、そういった関係団体の協力を得た上で、母の孤立化を防ぐ取組を行っている。</p>
遠藤委員	<p>【質問】平成26年度の目標(3)児童虐待を見逃さない地域づくりについて、「民生・児童委員の地区会や直接児童と接している児童館に出向き、児童虐待防止に関する説明を行う」とあるが、説明だけでなく、こんにちは赤ちゃん訪問事業の際に民生委員も同行して家庭訪問させてほしい。他市町村では、既に実施しているところもある。</p>
岸委員	<p>予防接種について、種類が多く、どのように受けたら良いかを悩んでいる母が多いため、もっと対応を充実させてほしい。</p> <p>【回答】予防接種については、担当課である健康管理課に伝える。こんにちは赤ちゃん訪問事業の際に民生委員が同行できるかどうかは、持ち帰って検討する。</p>
	<p>(3) 取り扱いケースの支援状況について</p>

	以降の議題については、個人情報を取り扱う為非公開。
--	---------------------------